

# 金星

No. 1  
発行  
神戸市中央区下山手通  
2丁目11番13号  
TEL (392) 1515 (代)  
啓明女学院内  
金星会

## 大きく羽ばたく母校「啓明」

同窓会々長

渡 辺 カナコ



同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。それぞれ、生業に勉学にお励みの事と存じます。

かねてからの計画でありました同窓会紙「金星」号、ようやく実現の運びとなりました。オギャーと生れたホヤホヤの赤ん坊「金星」No.1は、何もかもが未熟ですが、これから、学院関係者や諸姉妹の御協力を得て、着実に成長させていきたいと思ひます。暖かく手を差し伸べてやって下さい。

扱、洒落た外国風ムードの漂う、家族的で小規模な学院からスタートした啓明も、時代の流れと共に要求にこたえて、大きく適正に変遷し、創立六十周年を来年にひかえて、卒業生約七千五百名(昭和二十三年以降)を数えるに至りました。

今、私達の母校啓明は、新たな一大飛躍のジャンプ台に立っております。限りなく広がる希望と確かな期待に胸をふくらませながら、そう来年、昭和五十八年四月には、清澄な空気と自然の緑に囲まれた横尾団地の白亜の新校舎に移転出来るのです。永年の私達の夢が遂に叶えられるのです。これこそ今、神から許され授けられた、啓明の新しい「場」なのです。この与えられた「場」で、母校が更に深く充実したキリスト教精神を基とし

た女子教育を實踐し、神の御心に添った素晴らしい妹達を次々と世に送り出す事を祈ってやみません。

皆さん、ここに至るまでの啓明の発展の為、学院当局各位の真摯な祈りと筆舌に尽せぬ御努力に、心より敬意と感謝を捧げましょう。そして私達同窓生も縦横ガッチリ、スクラム組んで、母校のますますの繁栄の為に少しでもお役に立つようではありませんか。貴女の大いなる愛と知と力を、母校に、金星会に、分け与えて下さる事をお願い致します。



### 総会のお知らせ

来年十月、母校創立六十周年を祝し、横尾の新校舎に於て、同窓会総会を開催致します。詳しくは「金星」No.2にて御案内致します。

## 校地移転にあたって

理事長 宮崎 明 治

(栄光教会牧師)



同窓会の皆さまが、母校啓明のためにいつも祈り、又尽力下さっていることを、感謝しております。

啓明は六十年前、宣教師ハランド先生を校長として、今の北校舎の地に出発しました。小さいけれども、家庭的な信仰的な教育を特色とするよい学校であったと思ひます。その後、時代の要求によって必然的に拡大発展の道をたどり、今日の現代的な整った姿の学園に成長してま

いりました。

歴代の理事長、院長はじめ関係者一同の努力により、現代化の諸問題をかかえつつも、内容的には他のキリスト教主義学校に劣らず充実してきていますが、さらに将来の発展を考えると、何と云っても現在の校地では大きい制限と困難があります。校地移転ということは、飛田院長時代からの熱心な願ひでしたが、多くの候補地を検討してきて、今回ようやく適当な地を得ることができました。

移転ということは、啓明にとってはたしかに大きい賭けです。しかし現在の啓明にとっては、これ以外に方法のない、それも今すぐとらなければならぬ、一つの道であると思ひます。神の導きを祈りつつ、決行する以外ありません。同窓会の皆さまも、このために祈り、又協力していただきたいのです。

移転に当たっては、最善の努力をほら

## モース・サイトウ院長

### メッセージ



Keimei grew out of the old Palmore Women's English Institute.

The PWEL grew out of Palmore Institute's women's department. That department was started because Palmore Institute had some women teachers who thought it was important to teach women, too. So seventy years ago, a women's department was started.

In those days (1912 or Meiji 45), it was thought men and women should not study in the same room. Typing during a hot summer day meant both men and women would perspire in the same room. So, a low wall was put between the men and women. That was the women's department.

Western Japan's first woman typist came from Palmore Institute. She might be Japan's first woman typist. In those days, only men worked in offices. Palmore helped break that idea. From that woman typist began Women's Palmore and our Keimei.

We are moving to a new era. Keimei is changing, but it will change towards becoming a better school. We will make our Christian ties stronger. We will make our roots in Japanese history of education grow. We were a foreign school in Japan. Now, we are legally a complete Japanese school. However, we remain true to our history by being a school not limited by any single nationalism. That is part of our Christian roots. In this, we will never change.

## 人の数だけ旅があります。

- 新婚旅行……一生に一度のことだから、自分たちだけの旅が、してみたい。
- 家族旅行……旅に出ると家にいる時とは違う話しもできますし、家族のつながりも深まります。
- 職場旅行……前回の職場旅行は、現地で、テニス・ゴルフ・釣りのグループに分れて楽しんだのですが、好評でした。太陽の下で上司や同僚とすごすのもいいですね。
- グループ旅行……学生時代の仲間と誘いあい、女同士でよく旅に出ます。お酒を飲みながら夜を徹して話す、なんて普段できませんからね。

東急観光 神戸営業所 神戸市中央区加納町4丁目4の17 (日生三宮ビル1F)  
TEL (078) 331 - 7461 代表

て、できるだけよい教育環境や設備を作りたいと願って、約二十五回の建設委員会を開催する等、関係者一同で努めてきました。

しかし何分にも、費用に制限があります。現在の校地を売却して、それで移転の全費用をまかなうほかないので、その点が苦しい所です。このこともお覚え下さるよう。

関係者一同の願ひは、ただ一つ。啓明を少しでもよい学校にしたい、それ以外にありません。

皆さまの上に、神の恵みを祈ります。

題字「金星」は、第一回卒業生、副理事長勝部美智子氏による。

# 母校「啓明」来春、横尾に新築なる！



新校舎全景



新校舎正面図

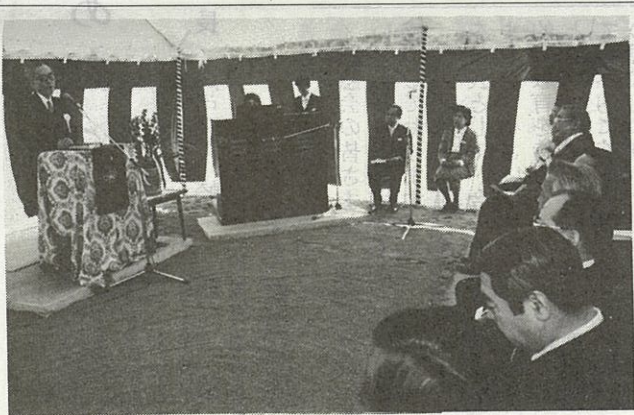
## 「教学の殿堂」

### 設計図

### 完成

「待つこと久し」と言う言葉どおり、神の御加護により本学院の学び舎が、写真のように設計の完成をみました。去る四月二日(金)若葉そよぐ横尾団地に新校舎の起工式を行い、その無事落成を神に祈りました。その日は全くよく晴れ、冬の厳しさを堪えた自然の生のすがすがしさが空に、丘に輝き光る思いでした。一昨年の十一月十九日に第一回建設委員会を開催し、ほぼ設計に成案を得たのは昭和五十六年十二月七日(回)第二十二回の建設委員会でした。当初、設計の根幹を綿密に検討し、創学の精神と将来のあるべき姿を画き、現実の厳しい条件内に最大の理念を実現することが眼目となりました。いみじくも理事長宮崎氏は起工式に臨んで「ここに至る今まで、関係する一同、心を一つにして進めてくることができた。それぞれの立場から、思いきった意見も出されたので、時に論争が交わされたこともあるが、啓明のために出来るだけよい環境を作り出したいという我々の願いは一つであり、心から協力し合ってきた、「人の和」として、この上ないものであった」と述べ、「何事も成功するためには、「天の時」、「地の利」、「人の和」を得ねばならない。幸い、起工式をもってスタートを切ったが、これからが大切だ。伝統に立ち、さらに飛躍のため神の導きのもと協力一致していきたく信念を訴えられた。昔から、百里を行くものは九十九里を以て半ばとするという戒めを身に体して皆さまとともに進めたい。左にその校舎概要を掲記します。

敷地面積	41,878 m <sup>2</sup> (12,690坪)
校舎面積	10,061 m <sup>2</sup> (3,043坪)
棟数	2棟
棟別面積	3,338 m <sup>2</sup>
教室	2,092 m <sup>2</sup>
講堂	1,621 m <sup>2</sup>
体育館	414 m <sup>2</sup>
特別教室	165 m <sup>2</sup>
附属棟	
理教	
普通	
特別	
体育	
礼拝	
附属	
棟	
の塔	



理事長 挨拶 (於 起工式)



院長 起工

- 着工 昭和五十七年四月
  - 完成予定 昭和五十八年二月
  - 開校 昭和五十八年四月
  - 構造 鉄筋コンクリート造り三階建
  - 総事業費 四十四億五千万円
  - 経過
    - イ 五十一年十月 神戸市へ校地分譲申請
    - ロ 五十二年六月 理事会にて校舎全面移転決定する。
    - ハ 五十五年三月 一粒社ヴォーリス建築事務所へ設計依頼。
    - ニ 五十五年十一月 建設委員会発足。(現、二十五回に至る)
    - ホ 五十六年十一月 神戸市と校区買収契約をする。
    - ヘ 五十七年三月 東急建設株式会社と校舎建設の契約する。
    - ト 五十七年 月 右社と現有地売却の契約をする。
    - チ 五十七年四月 現地にて起工式を行う。
- (資料は事務所提供)

## 新校地付近見取図



## 母校・運動会・文化祭 開催のお知らせ

### 今年もバザーに出品を

啓明女学院では来る九月十五日(水)に文化祭が、また九月十七日(金)に体育祭が開催されます。体育祭は王子競技場に於て、文化祭は、南北両校舎に於て開かれます。今回の文化祭は現在の校舎で開かれる最後のものです。同窓生もふるって参加しようではありませんか。同窓会は例年の様に文化祭でバザーをいたします。出品物(日用品・衣料品・食料品何でも可)一点何点でも是非御寄贈下さい。貴方の出品物の売上金は、貴方の名に於て寄付されます。同窓生のみならず、各種団体、個人の出品寄贈も大歓迎です。出品下さる方は、九月一日〜一〇日まで

## 金星 啓明女学院校舎建設寄付

### 募金実行委員会

- (略称・金星募金実行委員会)
- 一、『金星』啓明女学院校舎建設寄付募金実行委員会は、啓明女学院同窓会・金星会が、母校の校舎建設に際して、寄付金を募る目的の為に設置された実行委員会であり、事務所を啓明女学院内に置く。
- 二、委員長 渡辺カナコ
- 三、副委員長 松葉 牧子 高瀬 淑子
- 四、庶務 山崎賀代子 美野 隆子
- 五、委員 各学年の同窓会幹事が兼任する。
- 三、目標額 一千万円
- 四、一口 五千円
- 五、対象 同窓生及び各種団体、個人
- 六、振込機関 太陽神戸銀行三宮支店 普通預金
- 七、口座番号 三三〇七三九八
- 八、口座名 啓明女学院金星会
- 九、昭和五十八年三月末日
- 七、切 (お願い)
- 八、期間中何回でもご寄付下されば幸いです。振込用紙がなくとも銀行に振込むことができますが、振込用紙をご入用の方は、啓明女学院(南校舎)内、金星会事務所でお渡し致します。
- 九、或は、事務所まで直接ご寄付下さっても結構です。受領書(振込金受取書)を差し上げます。お問い合わせは、啓明女学院内金星会事務所 (TEL・〇七八一三九二一五一九)へ。

# おなつかしい先生方より一言

(ABC順)

### 原谷 勉先生

卒業生の皆さん、お変わりございませんか。  
 啓明に勤めて、早や十五年目を迎えました。時々、神戸の街で卒業生に出会うと「先生、年とりましたね」と言われるほど、頭に白いものが目立ちはじめました。この十五年間、私個人にとっても色んなことがありました。卒業生の皆さんにとっては、人生にとっての最もはやかな時代を、様々な思い出を残して歩まれてきたことでしょうか。

送り返して、ストレス解消に、三月には北海道にスキーに行ってきたが、好きな山登りも最近はなかなか実現できず六甲近辺を歩いている位です。  
 四月からはじめて中学の担任になり、毎日中学生のエネルギーと体力に圧倒され、年寄り扱いにもめげず楽しくがんばっています。

5月26、29日と九州修学旅行の引率で、生徒と長崎の原爆の詩などを読んでいます。

### 木村和也先生

早いもので本校にお世話になって二十二年になりました。昭和五十二年年度から増田伊太郎先生より、生活指導部を受け継ぎ、いろいろ問題の多い現在、微力ながら生徒の人格の陶冶に全力をもって頑張っております。

### 松井泰憲先生

勤めてすでに17年、さまざまな思いが駆け巡ります。共に汗し、共に泣いたバレー部の付き合いは特に感極まるものがあります。しかしいづれの時においても常に「心して見」、「心して言い」、「心して聞く」事を心懸けて来た事は自分にとっての心情でありました。今後より一層がんばって行きたいと思っております。

### 松尾実子先生

いつしか私も古株教員の部に入りました。来年の今頃はこの校舎には、いないのかと思うと毎日上る階段の一段一段にも万感の思いがあります。やがて須磨で始まる新生啓明に拍手を送りつつも、この校舎に対する去り難き哀惜の情。これも愛別離苦の一つでしょうか。

### 中野 孝先生

啓明女学院に赴任して、もう10数年の月日が過ぎてしまった。無我夢中で、走り、転び歩んだ道。今もただ変らぬ事と言え、赴任時の気持ち、夏の体練だけであらう。  
 来年は、新校舎も完成、又新しい啓明の出発に、心燃やす現在であります。

### 中山武男先生

親ばかは、だれでもある。子より孫が可愛いなるとうとうと。生徒が孫のように思われるともういけない。冷厳に正すしたかな根性こそ教師魂というものだ。自戒のことばである。

### 称津茂実先生

私も最近めっきり頭に白いものが目立ようになってきました。卒業生の皆さんも、それぞれの立場で建学精神を生かした生き方をされているのをみて啓明女学院の教師をさせていただき本当によかったと感ずる時があります。  
 学校も新しい環境にかわりませんが、初心にかえて日々新たな歩みを続けたいと思っております。

### 佐野美智子先生

啓明にまいりましてからもう二十二年が過ぎました。  
 来春には横尾山を背景にはるか淡路島を見下す台地に新しい啓明の学舎が生まれようとしています。現在の南北校舎に未練を残しながらも、自然に恵まれた広々とした空間の中の学院生活はより大きな展望と視野を与えてくれるものと確信しております。私も新校舎に思いを新たに、及ばずながら更に努力を重ねたく思っております。どうか折あらば是非新校舎をごらんの方、御来校下さい。

### 多賀野芳晴先生

今年度は、高一付きて北校舎の方におります。堂々たる新校舎の完工を期待し、本年度限りの伝統ある校舎、特に木造本館をしのび、毎日教科(理科)と取りこんでおります。

### 竹内綾子先生

就任後、20年間を過ぎた今も相変わらずせつかなのか、のんびりしているのか、わからないような毎日を急がしくおっくっています。今後これも続くでしょうか、くたばることを、少しでも先にのぼして頑張りたいと思っております。今日この頃です。

### 山本真規子先生

みなさまの学生時代が懐かしい。  
 現在は講師になって淋しく思いますが、授業外では筆曲と三絃の指導をして頑張っております。  
 卒業生は勿論ですが、今では更にその子の可愛い子供達を預り一緒にお琴を弾ける事は本当に幸せです。これからもみなさまに負けないファイトの人生を続けたいです。お多幸祈って居ります。

### 八杉貞子先生

この度、同窓会通信「金星」が再刊されること、よろこばしく思っています。

### 増田伊太郎先生

永い教師生活で私を支えてくれたのは、聖人アウグスチノー(私の霊名)の「彼も人なり。私も人なり。彼に出来たことは、私にも出来る筈」という言葉でした。女子教育には、無理だから、一、二年で辞退しようと考えていたのが、生徒達の純良さと真剣な姿に心ひかれて十数年も勤める結果になりました。  
 お手洗、玄関、廊下の清掃等、雑巾を持つ手に力を入れる為、冬でも首筋に汗を流し、両膝をつき、(神と対話しながら)拭くより磨く態度が大切でした。飛田前院長は、玄関で靴を脱ぎ、院長室まで行かれたことが度々あったことを記憶しています。

### 退職された先生方

移転にあたっては、特に創立当初からの由緒ある建物がなくなくなることについて淋しい気持ちですが、今後とも、同窓生の皆様が学院を見守り育て、下さるよう、お願いいたします。

### 同窓会行事報告

卒業生も年々増え、会員も七千名を突破した同窓会ですが、総会は現在の所毎年ではなく三年に一度ということになって開かれています。  
 最近では昭和五十五年四月二十七日に神戸閣で開催されました。出席者は総勢240名、齊藤院長御夫妻をはじめ、懐しい江口、西崎、丸上、島、三好、山本、大西増田各先生方に御出席いただき楽しい時を過ごしました。育友会からも会長はじめ役員の方々が出席され、学校からと共にお祝い金をいただきました。席上せりしも開かれ十三万三千四百七十円の売上げがありました。

### 同窓生便り

近況、御意見等御知らせ下さい。次回「金星」に掲載させていただきます。  
 「金星」は一年に一回発行予定です。住所、氏名(旧姓)、回生明記の上、啓明女学院内金星会宛ハガキにて、切な

### 長年御世話になりました

退職された先生方(昭和五十一年以降)  
 加藤藤郎先生(昭51)  
 増田伊太郎先生(昭51)  
 田中順一先生(昭52)  
 大西たつ先生(昭52)  
 吉村三三先生(昭54)  
 森本太郎先生(昭55)  
 車八郎先生(昭55)  
 石山陽子先生(昭56)  
 山崎賀代子先生(昭56)  
 事務職員の方  
 富田恒子氏(昭53)  
 下茂すや氏(昭54)  
 川崎よし多氏(昭55)  
 亡くなられた先生方  
 杉山敬一郎先生(昭52)  
 萩守先生(昭56)  
 池田光雄先生(昭57)  
 退職された先生方(昭和五十一年以降)  
 萩守先生(昭56)

### 同窓会名簿に御協力を

皆様お待ちかねの同窓会名簿は、各学年幹事の御協力により、いよいよ来年四月発行と決まりました。目下準備しつつありますが、卒業生の約五割が住所不明で非常に困っておりますので、御協力をお願いいたします。今回、金星紙の届かない方は、住所不明ですので、至急、御本人(又は友人)が、お知らせ下さい。(切来年二月末日)  
 現住所、電話、氏名(旧姓)、回生(又は卒業年月)を、啓明女学院内金星会宛。

### 広告募集

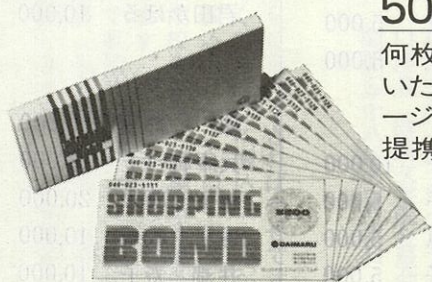
同窓会名簿を発行する際に掲載する広告を募集します。広告掲載を希望の方は至急御連絡下さい。(連絡先・母校 国宝先生まで)  
 ・切 五十八年一月末

手軽な贈りもの

## ダイマルショッピングボンド

### 500円単位の商品券

何枚でも組合わせてご使用いただけます。封筒とメッセージカード付き。全国の大丸提携店で通用します。



神戸店 (078)331-8121  
 新長田店 (078)643-2951  
 須磨店 (078)791-3111  
 芦屋店 (0797)34-2111